事例No.	2721
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	陽野ふるさと電力株式会社

事例区分	地域活性化

タグ	・電気事業 ・歳入確保 ・関係人口

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

陽野ふるさと電力株式会社

出典

令和２年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

陽野（ひの）ふるさと電力株式会社

埼玉県秩父市

環境保全　産業振興　コミュニティ

概　要

秩父市荒川日野（寺沢）地区住民総意のもとに設立した「陽野ふるさと会」は、荒廃し有害獣の生息地と化した里山の解消や再生に取り組んでいたが、会員の高齢化が問題となり、安定して継続できる活動が困難となった。活動を維持するため、後継者の育成のために魅力的な地域づくりの必要性を考え、渓流という地域の特性を活かし、マイクロ水力発電を事業に取り組むことで後世に引き継ぐ財産の一つを残すことを決意し「陽野ふるさと電力株式会社」を設立した。売電収入を里山整備等に充て、首都圏との交流人口を増やし、里山整備事業や団体、地域の存続を計画している。



【小水力発電実証実験】

評価された点

・マイクロ水力発電による売電事業で活動費を捻出し、里山再生などの取り組みを行っている。
・コミュニティの高齢化を逆手に取って自走できる電力のスキームを作った。投資は大きいが将来性を考えると新たな地域経済の取組と言える。
・地域の団体を母体に電力の地産地消を目指すマイクロ水力発電の会社を設立し、そこでの収益を地域へ再投資する仕組みをつくっている。こうした取り組みが成果を挙げていけば、中央集権型から地方分散型へ向けた転換に向けて大きな役割を果たすことが期待される。


【発電機の設置】



【里山整備草刈り作業】



【曼珠沙華の根付け】